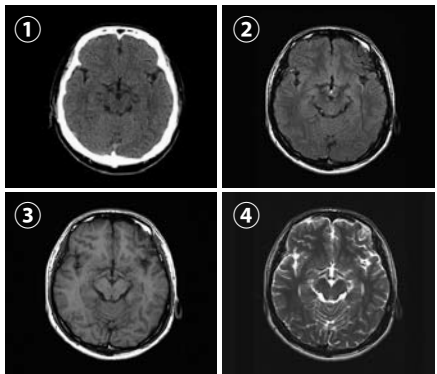


★ここが知りたい！★ 米沢市立病院紹介②

ほうしゃせんが ☆放射線科編☆



今回は病棟建物 1 階にある「放射線科」です。患者さんの体の中を画像にして、病気の有無や進み具合を診断しています。それでは“CT検査”と“MRI検査”について、放射線科長の大串雅俊医師(写真：右)にお話を聞いてみましょう。



①はCT画像。骨のように重いものは白く、水のように軽いものは黒く写ります。
②～④はMRI画像。様々な撮影方法があり、画像を組み合わせで診断します。

Q CT検査とMRI検査は、どう違うのですか？

A CTはX線（放射線）、MRIは磁石の力を利用して、体の中を断層（輪切り状）画像にする検査です。CTは短時間で撮影できるので、急いで診断が必要な骨折や脳出血など、また呼吸で動いてしまう肺やお腹などの検査が得意です。MRIは、呼吸などで動きにくい頭・脊髄・関節などの病気の診断を得意としています。

Q 頭のCT検査とMRI検査を受けました。分かることは違うのですか？

A CTはX線で撮影した画像（左写真①）から診断して、脳の外傷や出血などを調べることが出来ます。MRIは正常と病変部位のコントラスト（明暗比）に優れ、また様々な撮影方法（左写真②～④）で画像にできます。脳の構造や脳内で何が起きているのか、より詳しく調べることが出来ます。

◆問合せ／市立病院総務課経営企画室 ☎22-2450 ◆ホームページ／<http://yonezawa-city-hospital.jp/>

※「ここが知りたい！米沢市立病院紹介」は、毎月1日号に掲載します（10回連載）。